

第4部 快適環境づくり

第4部 快適環境づくり

豊かな緑、さわやかな空気、清らかな水辺、美しい街なみや歴史的な雰囲気などが、バランスよく備わった快適な環境（アメニティ）は、生活にうるおいとやすらぎを与えるなど様々な恵みをもたらし、健康の維持、増進、精神のリフレッシュあるいは、子供の健やかな成長に欠かせないものである。

このような生活の質の向上、精神的な豊かさを環境に求めようとする要請に応えるため、公害の防止や自然環境の保全にとどまらず、快適な環境を積極的に創造していくことがますます重要な課題となっている。

こうしたことから、県では次のような施策を実施している。

1 因伯の名水

鳥取県は幸いにして、清らかで豊かな水に恵まれ、県民はこれを心のふるさととして幾多の文化を培って来た。

これらの水の中には、古くから人々との関わりを物語る古事来歴を持つものや、優良な水環境が含まれており、昭和60年3月に環境庁が選定した全国名水百選に淀江町の「天の真名井」が選定された。

これを契機に県内の優良な水環境の保全と県民の意識の高揚を図ることを目的として、本県独自の「因伯の名水」を選定した。

これら「因伯の名水」21ヶ所と「天の真名井」については、毎年、「名水保全の集い」を開催し関係地域間で情報交換するなど周辺の環境整備を促すとともに、その活用と保全を積極的に進めている。

2 鳥取県を美しくする運動

県民のすべてが健康で文化的な生活を営むためには、生活環境を清潔で快適なものにする必要がある。

ごみのない清潔な生活環境づくりは、我々県民に課せられた義務であり、県・市町村の積極的な施策とともに、県民一人一人の正しい理解と協力を得て強力で推進してゆく必要がある。

このため、昭和46年から市町村及び各種関係団体の協力のもとに「鳥取県を美しくする運動」を実施し、県民の環境保全意識を高揚し、河川、海岸等公共の場所からごみを一掃する運動を展開してきた。

平成6年度から、全県公園化週間（10月1日～10月7日）の設定に伴い、運動期間を9月1日から10月31日までの2ヶ月間に延長し、一層の美化運動の推進を図ることとしている。

平成7年度の事業実施結果は次のとおりである。

(1) 運動期間 平成7年9月1日～10月31日

(2) 運動内容

ア 広報活動

ポスターを500枚作成し、保健所・市町村等に配布し、併せて市町村広報紙に運動の趣旨を掲載するとともに、行政無線等を利用して運動への参加と意識の高揚を図った。

イ 知事表彰

地域環境美化に功績のあった団体 個人に対し知事表彰を行った。

(狐川を美しくする会(鳥取市) 国府町青年団)

ウ 清掃活動

市町村、各種団体、自治会等が中心となり河川、湖沼、海岸、公園等の清掃を実施するとともに不法投棄ごみの除去を行った。

エ 不法投棄の監視指導

市町村・保健所が、不法投棄の監視指導パトロールを実施した。更に警察の協力を得て不法投棄者の監視取締パトロールを実施した。

オ 立札の設置

不法投棄をしないよう立札を設置した。

カ 各種会合

美化意識の高揚を図るため会合を開くとともに、浄化槽の設置者に対し維持管理講習会を実施した。

3 環境月間

昭和47年国連総会において毎年6月5日を「世界環境デー」とすることが決議され、これを受けて我が国においても、この日を初日とする1週間を「環境週間」とすることとされるとともに、さらに平成5年11月制定された「環境基本法」においても、事業者及び国民の間に広く環境の保全についての関心と理解を深め、積極的に環境の保全に関する意欲を高めるため、6月5日が「環境の日」として定められた。

かねてより「世界環境デー」を含む6月を「環境月間」と位置付け、全国的に幅広い運動が行われ、本県においても、この趣旨に沿って市町村及び各種団体の協力のもとに多彩な行事を実施し、環境保全についての意義を広く県民に普及し、啓発に努めるため各種の行事を行っているが、平成8年度の実施状況は次表のとおりである。

表148 平成8年度環境月間行事実績一覧表

鳥取県

| 行事名 | 内容 | 主催 | 場所 | 期日 | 参加者等 |
|-----------------|--|--------------------------------|---------------------------------|---------------------|----------------------|
| [研修会等] | | | | | |
| ゴミ分別収集説明会 | ゴミの分別収集の説明 | 鳥取市 | 市内 | | |
| ごみ減量化講演会 | EM菌を使ったごみ減量化の講演会 | J.A.鳥取県北はら美町支部 | J.A.鳥取県北はら美町支部 | 6/13 | 95人 |
| 分別収集説明会 | カン類の分別とH9年度からの分別収集についての説明 | 郡家町 | 町内7地区等 | 6/12~28 | 部落区長 婦人代表 |
| ボカシ作り講習会 | EM容器の普及を図るため、村中の婦人を指導者として生ごみ処理の触媒となる「ボカシ」の作り方を講習 | 泊村 | 泊村中央 公民館 | 5/24 | 40人 |
| シーサイドクリーンアップ連絡会 | 山陰夢みなど博覧会に向けての対策資源ゴミ回収のためのゴミかご設置 | 境港市、境港管理組合等 | 境港市サイクルセンター | 6/5 | 13人 |
| ビデオ視聴会 | ビデオ「2020年からのメッセージ」、「エコ・ライフ」視 | 鹿野町勝谷小 | 町内小学校 | 6/6、6/27 | |
| 社会科見学学習会 | 衛生施設組合、ゴミ焼却場の視察 | 鹿野町勝谷小 | ゴミ焼却場 | 6/20 | |
| リサイクルセンター研修 | 新しい分別収集研修会 | 赤崎町上女性クラブ | 町文化センター | 4/28~6/24 | 184人 |
| | 新設ほうきリサイクルセンターへの現地視察、ゴミの分別収集等の研修 | 赤崎町赤崎地区区長会 | ほうきリサイクルセンター | 6/19 | 25人 |
| | リサイクルセンターで資源ゴミの分別及び作業研修視察 | 倉吉資源リサイクル事業協同組合 美保ライオンズクラブ等 | 境港市リサイクルセンター | 6/4、6/6 6/7、6/27 | 62人 |
| | 新設ほうきリサイクルセンターへの現地視察、ゴミの分別収集等の研修 | 北条町ボランティア | ほうきリサイクルセンター | | 20人 |
| [作品募集] | | | | | |
| 環境美化作文募集 | 環境に対する認識を高めてもらおうため小中学生を対象に募集 | 米子市 | | 6/1 | 小学生 220人 中学生 749人 |
| [調査等] | | | | | |
| 交通公害調査 | 市街地等の交通量の多い地点における自動車騒音登校通行外の実態を把握し、結果公表により公害防止への県民の理解を深めるとともに、今後の環境保全行政の資料とする。 | 鳥取県 | 鳥取市、米子市、倉吉市、羽合町、三朝町、郡家町、河原町、境港市 | 6/4 6/11 | |
| | | | 日野町 | 6/6 | |
| | | | 津和野町 | 6/13 | |
| | 通行車両の排気ガス濃度の測定 | 中国運輸局鳥取陸運支局 | 津和野町 | 6/17 | 26人 |

| 行事名 | 内容 | 主催 | 場所 | 期日 | 参加者等 |
|----------|--|----------------------------|---------------------|-----------------|-------------------|
| [施設見学] | | | | | |
| 中学生施設見学 | 環境問題・ゴミ問題の現状認識のため廃棄物処理施設見学を行った | 米子市 | 米子市清掃工場 建設省日野川堤 | 6/25 | 33人 |
| 焼却場見学 | 焼却場の見学を行い、ゴミについての理解を深める | 日野町立日野小 | 日野町焼却場 | 6/25 | 31人 |
| [環境美化運動] | | | | | |
| 海岸一斉清掃 | 浦富海岸クリーン作戦：海水浴場及びその周辺道路の清掃 | 山陰地区国立公園野生生物事務所 鳥取県、岩美町 | 浦富海岸 東浜～大谷海岸 | 6/5 | 58人 |
| | 岩美町立岩美北小学校全校児童による海岸清掃 | 岩美町岩美北小学校 | 浦富海岸 東浜～城原海岸 | 6/27 | 児童 420人 先生 20人 |
| | 海水浴場の空き缶ゴミひろい | 羽合町青年団、小学校等 | 羽合海水浴場 | 6/15 | 50人 |
| | 海岸漂着物の一掃 | 赤崎町下市、花見、葦津部落 | 赤崎町下市、花見、葦津海岸 | 6/18 | 300人 |
| | 老人クラブの生きがい対策として、健康であり町内の環境美化に協力できる楽しさを感じてもらう。 | 赤崎町以西老人クラブ | 赤崎町船上山駐車場周辺及び町内道路周辺 | 6/4 | 10人 |
| | 鉄道愛するOB会による赤崎駅の環境美化のための草刈り、植栽 | 鉄道赤崎OB会 | 赤崎駅構内及び周辺 | 6/4 | 30人 |
| | 境港市シーサイドクリーンアップ連絡会による海岸線清掃 | 境港市、境港管理組合等 | 境港市中野町 | 6/19 | 44人 |
| | 河川一斉清掃 | 河内川、河川敷のヨシ草刈り作業 | 鹿野町小鷲河公民館 | 河内川流域 | 6/2~6/9 |
| | 加茂川とその周辺一体の清掃、花壇の整備など美化活動の実施 | 米子市加茂川を美しくする運動連絡協議会 | 加茂川周辺 | 6/25 | 610人 |
| 町内清掃 | 側溝に堆積している汚泥等を、自治会で取り除く。 | 岩美町浦富自治会 浜自治会 | 各自治会内 | 6/2、6/9 6/16 | 500人 |
| | 各集落内の道路、小川等の空き缶、びん、一般ゴミの収集、草刈り等 | 福部村 | 村中 | 7/2 | |
| | 「クリーンせきがね一斉行動の日」各自治公民館地域内の道路、河川湖沼、公園、広場等に散乱しているゴミの収集と処分 | 関金町 | 町内 | 6/16 | 1,326人 |
| | 天神川河川敷等ゴミ空き缶拾い | 北条町、建設省 | 天神川河川敷 | 7/13 | 500人 |
| | 大栄町内33部落と各道路の空き缶、空き瓶、一般ゴミの収集、除草などを行うことにより町民を取り巻く環境に対する認識を深める | 大栄町 | 町内 | 6/30 | 1,646人 |
| | 側溝の清掃や草刈り等により町内の環境美化意識を高める | 赤崎町内各部落 | 町内 | 6/1~7/7 | 1,100人 |
| | 健康と環境についての意識高揚のため実施 | 西伯町 | 町内 | 6/2 | 3,000人 |

| 行事名 | 内容 | 主催 | 場所 | 期日 | 参加者等 |
|--------------|--|--------------------|---------------|------------|----------|
| 町内清掃 | 日野町黒坂駅、黒坂かわこ公園、バス停などの小学校による清掃 | 日野町立黒坂小学校 | 黒坂小学校周辺 | 6/25 | 20人 |
| | 小学校周辺の清掃、用品の廃品回収 | 日野町立菅福小学校PTA | 菅福小学校周辺 | 6/16 | 43人 |
| | 日野町カヌーの里周辺の清掃 | 日野町 | 日野町下榎地内 | 6/26 | 10人 |
| | 日野町鶯の池清掃 | 日野町 | 日野町鶯の池周辺 | 6/28 | 20人 |
| | 日野町黒坂駅、黒坂かわこ公園等の清掃 | 鳥取県立日野産業高校 | 日野産業高校周辺 | 6/29 | 13人 |
| | 日野町黒坂かわこふれあい公園の清掃 | かわこふれあい公園管理委員会 | 黒坂かわこふれあい公園周辺 | 6/30 | 200人 |
| ゴミ集積場清掃 | 町内のゴミステーション点検・清掃 | 船岡町 | 町内 | 6/3、10、17等 | |
| 廃品回収 | PTAによる廃品回収 | 鹿野町立鹿野小学校 | 鹿野地区内 | 6/16 | |
| | | 鹿野町勝谷小学校 | 勝谷地区内 | 7/7 | |
| | | 鹿野町小鷲河小学校 | 小鷲河地区内 | 6/16 | |
| | 資源ゴミの回収 | 青谷町寺谷小PTA | 青谷地区内 | 6/2 | 300人 |
| | | 青谷町城山子供会 | 城山地区内 | 6/9 | 80人 |
| | | 青谷町栄町子供会 | 栄町地区内 | 6/23 | 40人 |
| 生ごみ処理機等のあっせん | 水きりバケツ、生ごみ処理機、EM容器のあっせん | 中部広域行政管理組合 | 羽合町内 | | |
| | 古紙、びん、缶等資源ゴミの回収 | 羽合町 | 子供会、老人会 | | |
| 花と緑の町づくり | 公共施設、駅、バス停、店舗、事業所等に花を植えたプランター配布 | 八東町公民館グループ | 町内 | 5/30 | |
| | 用瀬町総合運動公園内の法面にひまわりの苗700本を植えた。 | 用瀬一因橋社郵便局とジュニアリーダー | 用瀬町総合運動公園 | 6/16 | 20人 |
| 不法投棄現地調査 | 不法投棄の現地確認 | 気高町 | 町内 | 6/12 | |
| [広報 啓発活動等] | 広報誌による広報 | 鳥取市外9団体 | | | |
| | 行政無線、有線放送による広報 | 岩美町外5団体 | | | |
| | 電光掲示板、テレビスポットによる広報 | 鳥取市、米子市 | | | |
| | ポスター・リーフレットによる広報 | 米子市町外2団体 | | | |
| [その他] | | | | | |
| | 布おむつ無償配布 | 母子手帳受取者に配布 | 鳥取市 | 市保健センター | 6/5-6/12 |
| 鮎つり大会 | 鮎つりを通じて地域の財産である千代川の良さを再認識し、水環境についても考えた | 用瀬町ジゲおこし実行委員会 | 町内千代川 | 6/30 | 37人 |